

龍馬と学ぼう

日商簿記2級

日商簿記2級フリーテキスト講座

<工業簿記15> 直接原価計算

全4枚



無料講座

月に一回

質問も無料ぜよ



最近の出題事例

- 137回 標準配賦率・配賦額・差異分析
- 127回 原価カード・消費量計算・差異計算
- 126回 仕掛品と損益計算書

全体理解していれば満点取りやすい

弥生カレッジCMCのフリーテキスト講座（無料動画で公開中）

無料動画はお持ちのテキストの該当の章を読んだうえで視聴して下さい

1. 直接原価計算の損益計算書

CVP分析が利益計画に役立つことはわかったと思います。

その観点から直接原価計算で損益計算書を作成する方が経営者にとって有用であるという議論が1970年代のアメリカでおこってきました。

テキストを読んでもわかりにくい話が多かったと思います。

ここは問題を解きながら動画で解説させていただきます。動画は1級の動画を使うので、「1級ならここまで」という論点は「ふーん」という感じで聞いて頂ければ充分です。

ちなみに、動画の板書のV (Variable) は変動費、F (Fix) は固定費をあらわしています。

<問題>

さくら社では製品 T を生産販売している。次の資料をもとに、[1]全部原価計算による損益計算書を作成しなさい。また、[2]直接原価計算による損益計算書を作成し、末尾において固定費調整を行いなさい。(10分)

●資料●

1. 原価データ

期首製品原価	7,000 円	(うち、固定費 1,000 円)
当期製造費用	22,500 円	(うち、固定費 9,000 円)

2. 販売データ(仕掛品は存在しない)

期首製品	50 個
当期完成	<u>750 個</u>
合計	800 個
期末製品	<u>200 個</u>
販売量	<u>600 個</u>

3. その他

- ① 販売価格は1個あたり100円である。
- ② 変動販売費 2,200円
- ③ 固定販売費 3,200円
- ④ 原価配分法及び固定費調整の方法は先入先出法による。また、仕掛品は存在しない。

この後は、全経1級154回の類題をみておきましょう。応用論点です。解説聞くだけでも力は付くと思います。

<https://www.youtube.com/watch?v=j3l8kskYz4Y>

1. 次の資料により直接原価計算（直接費＝変動費のみで製造原価を計算する方法）方式によるP/Lを作成しなさい。

イカ焼きお土産セット

売価@1,600円

変動費（小麦粉・イカ）	540,000円	}	製造原価
変動加工費（電気代等）	738,000円		
固定加工費（リース料）	414,000円		



営業マンの歩合給(変動費)	1個売るとに@154円	}	販売管理費
一般管理費（事務所家賃）	204,000円		
固定販売費（営業マン固定給）	126,000円		

今月は1,800個生産（月初月末の仕掛品・月初の製品在庫なし）して、1,500個販売

2. 向いに「ちよぼ焼」の店ができたため、来月は1,400個の販売に減少しそうである。現在の営業利益を確保するには、固定費総額をいくらにしなければならないか？営業マンの給料を下げるのか？リース会社に交渉するのか？悩みます。



たこ焼きとお好み焼きを足して2で割った感じ
ポンズ味がウマイです

I	売上高	()
II	変動売上原価	()
	製造マージン	()
III	変動販売費	()
	限界利益	()
IV	固定費	()
	営業利益	()

現在の営業利益を確保する為の固定費総額 ()

<回答>

I	売上高	(2,400,000)
II	変動売上原価	<u>(1,065,000)</u>
	製造マージン	(1,335,000)
III	変動販売費	<u>(231,000)</u>
	限界利益	(1,104,000)
IV	固定費	<u>(744,000)</u>
	営業利益	(360,000)

現在の営業利益を確保する為の固定費総額 (670,400)

売上高が変化する→変動費も変化する→限界(貢献)利益がわかる→固定費引くと営業利益

<応用問題> (1,500個販売時)

<損益分岐点を求めなさい(円未満切捨)>

<損益分岐点比率を求めなさい(小数点第2位を四捨五入)>

<安全余裕率を求めなさい(小数点第2位を四捨五入)>

<直接原価計算の営業利益を利用して全部原価計算の営業利益を計算しなさい

全直末首、加減して(うわさの全直末首です)

<上記回答>

損益分岐点=1,617,391、損益分岐点比率=67.4%、安全余裕率=32.6%

全部原価計算の営業利益=

直接原価計算の営業利益

+ 月末棚卸資産に含まれる固定製造間接費

- 月初棚卸資産に含まれる固定製造間接費

製品	
固定製造間接費 414,000 円	販売数 1,500 個
	在庫数 300 個

月末棚卸資産に含まれる固定製造間接=414,000×300÷1,800=69,000

∴ 全部原価計算の営業利益=360,000+69,000=429,000 円